

エコプラザ（仮称）空間利用の考え方

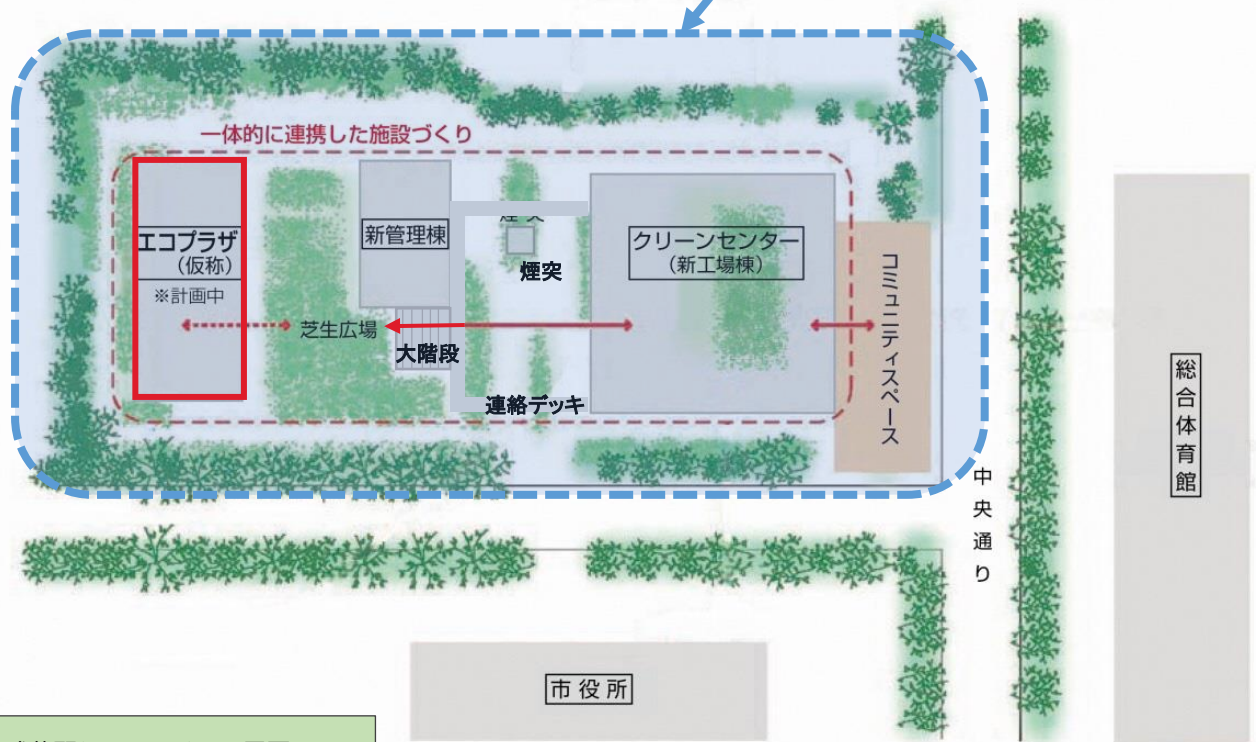
1. エコプラザ（仮称）配置計画

平成 29 年 4 月にクリーンセンター敷地内東側に新工場棟が本稼働し、その後、西側旧工場棟を解体し跡地に新管理棟、芝生広場を整備するとともに、旧事務所棟と旧プラットホームを残置し環境啓発施設エコプラザ（仮称）として整備するものである。

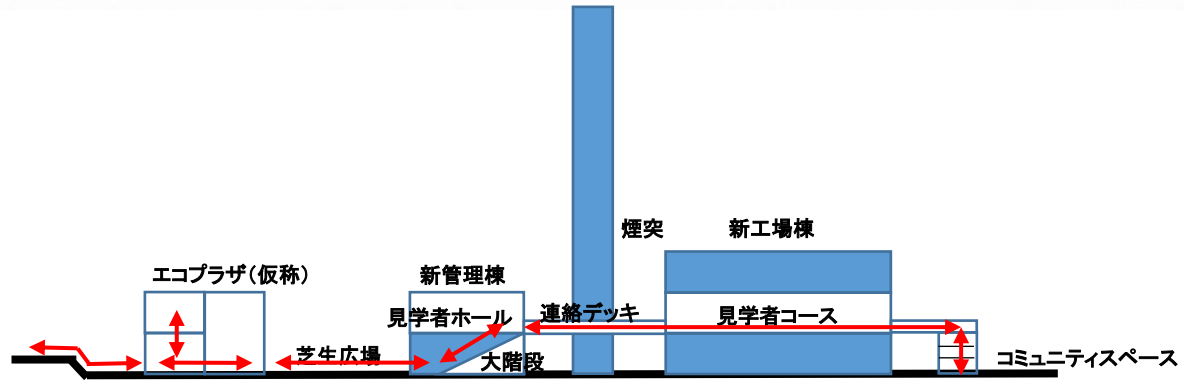
クリーンセンター敷地は「ごみ処理施設」として都市計画決定されており、新工場棟でごみ処理を行っている。エコプラザ（仮称）は「ごみ処理施設」の付帯施設として、ごみをはじめ、地球温暖化を背景に、日常生活と環境問題との多様な接点やつながり・関係性などをわかりやすく説明し、市民一人一人の環境にやさしい行動を促す施設として、平成 32 年度中の開設を目指している。

また、敷地内にある新工場棟、新管理棟、芝生広場とエコプラザ（仮称）が一体的な環境啓発のフィールドであり、環境啓発を推進していく。

敷地全体が「ごみ処理施設」として都市計画決定



武蔵野クリーンセンター配置図

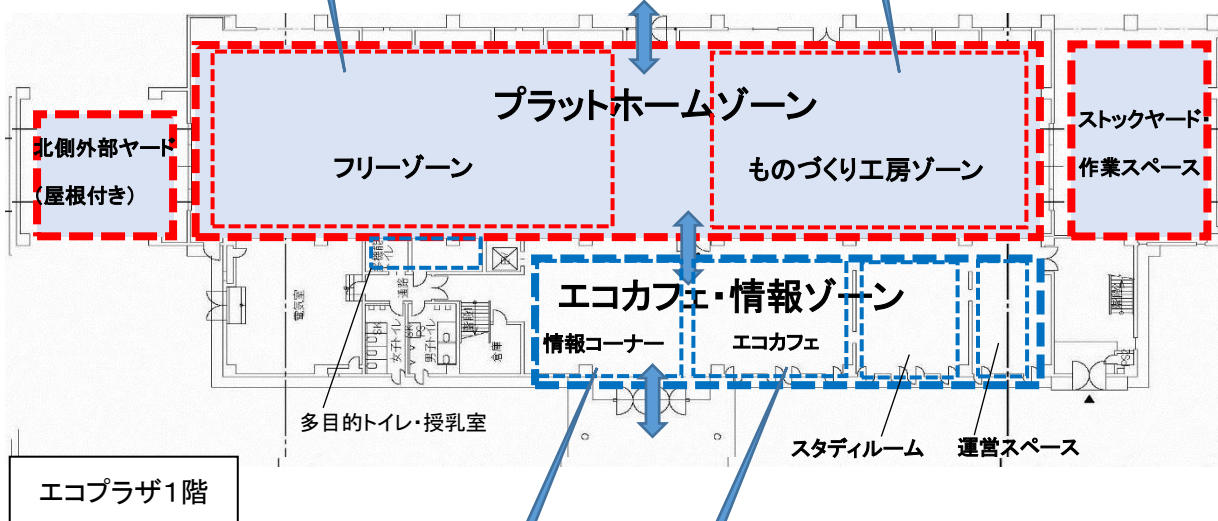


武蔵野クリーンセンター断面構成図

2. エコプラザ（仮称）の機能と空間利用イメージ

(1) エコプラザ（仮称）1階の機能と空間利用

- ・プラットフォームゾーンは機能面では通常、ものづくり工房ゾーンとフリーゾーンに使い分け、イベント等の開催においては全体を使用できるようにする。
- ・エコカフェ・情報ゾーンは、エコカフェと情報コーナーが一体的な一つの空間にあり、その裏にスタディールーム、運営スペースがある。
- ・1階には多目的トイレ、授乳室を完備する。



【機能】

(1) 情報・伝達

- ① 専門的・客観的な情報
- ② アーカイブ
- ③ 情報の伝達

(2) 学ぶ・学び合う

- ① 展示
- ② 参加・体験
- ③ 行動・活動
- ④ 探究・創造
- ⑤ ESD

(3) つなぐ

- ① 環境分野をつなぐ
- ② 人と人をつなぐ

(4) 育てる

- ① 環境への興味を育てる
- ② 活動を育てる

(5) 支える

- ① 相談
- ② 支援

【プラットホームゾーンの機能と空間利用】

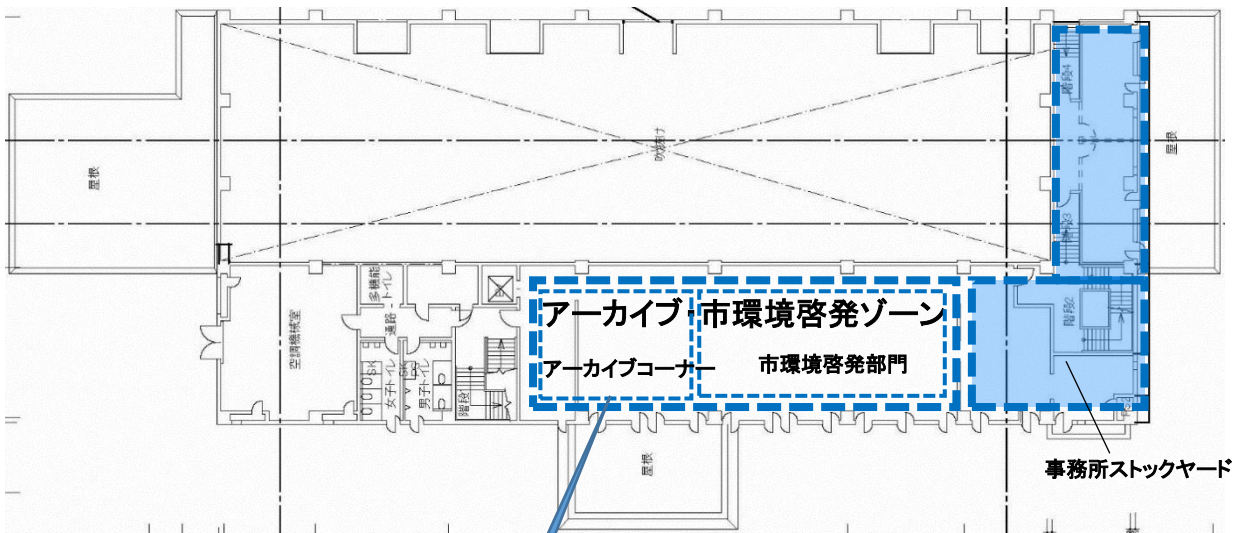
プラットホームゾーン	空間利用(例)
ものづくり工房ゾーン	・廃材アートワークショップ ・廃材(素材)ストック棚 ・エコ実験、観察ができるコーナー
ものづくり工房ストックヤード	・ものづくり工房ストック(集める・解体・分別)
北側外部ヤード(屋根付き)	・外部作業スペース
フリーゾーン	・エコプラザの活動成果、運営事業者企画展、市民活動団体企画展など ・スクリーンによるエコを題材とした映像上映 ・エコを学びながら子どもが遊べる
イベント等開催(全体利用)	・環境フェスタなど市の環境啓発事業展開 ・クリーンセンター事業者イベント(エコマルシェなど)との連携 ・エコプラザの活動成果、運営事業者企画展、市民活動団体企画展など

【エコカフェ・情報ゾーンの機能と空間利用】

エコカフェ・情報ゾーン	空間利用(例)
エコカフェ・情報ゾーン	・エコを通じて人事・世代・情報交換の場 ・エコについての相談・支援 ・エコ講座、発表の場 ・エコクッキング、食品ロス
情報コーナー	・環境に関する情報
スタディールーム	・エコプラザの活動、市民活動団体などの支援 ・エコ講座、発表の場 ・市の環境啓発事業展開
多目的トイレ、授乳室	・多目的トイレにはベビーベット、ベビーチェアを設置 ・授乳室には流し、ポットを設置
事務所スペース	・運営事業者の事務スペース

(2) エコプラザ（仮称）2階の機能と空間利用イメージ

- ・アーカイブ・市環境啓発ゾーンはアーカイブコーナーと市環境啓発部門で構成する。市環境啓発部門裏手に事務所バックヤードスペースを確保する。



エコプラザ 2階

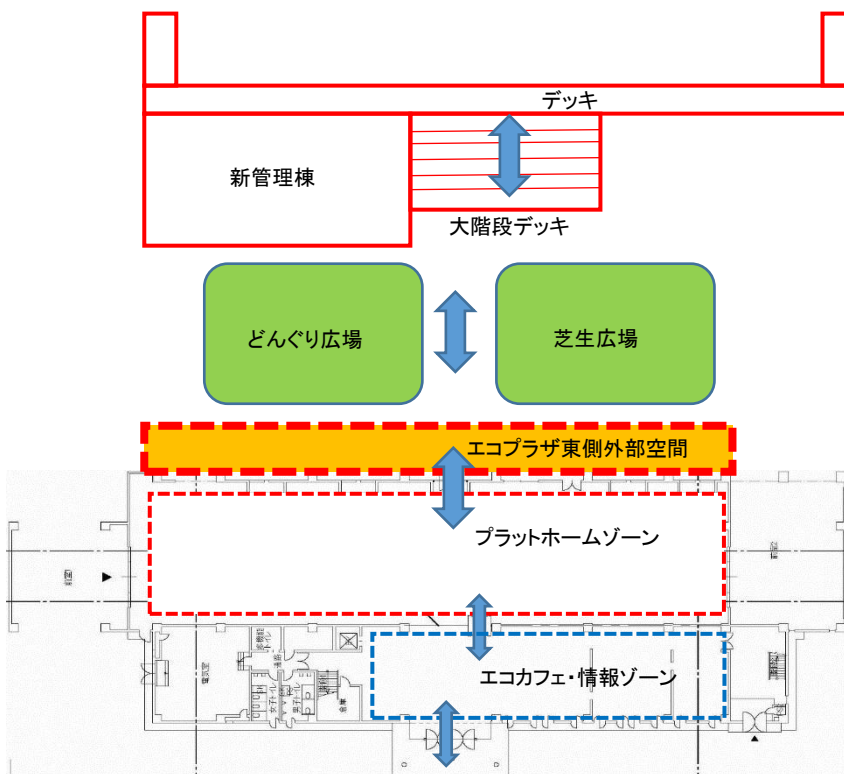


- (1) 情報・伝達
- ① 専門的・客観的な情報
 - ② アーカイブ
 - ③ 情報の伝達

アーカイブ・市環境啓発ゾーン (旧事務所棟2階)	空間利用	
アーカイブ・市環境啓発ゾーン	アーカイブコーナー	・エコプラザでの活動を記録に残す。活動記録を閲覧できる。
	市環境啓発部門	・市環境啓発部門を配置。市環境啓発とエコプラザの市民活動と連携。 ・市民団体などの活動支援
事務所機能バックヤードスペース		・市環境啓発部門の事務所機能バックヤード

(3) プラットホームゾーンと東側外部空間との関係性

- ・ プラットホームゾーン東側外部は芝生広場、クリーンセンター大階段デッキと連続しており、東側外部空間もエコプラザのフィールドとなる。またプラットホームゾーンと東側外部空間とも連続している。
- ・ 東側外部空間では外部デッキを整備し、緑を感じる憩いの場となる。
- ・ 緑、水循環、エネルギーが東側外部空間で体感できる仕組みをつくる。



【プログラムと利用空間、運営主体者イメージ】

環境テーマ	伝えたいこと（例）	伝えるためのプログラ（例）	主な利用空間	顔が見える運営に必要な要素（例）
全般②	全てのプログラムを武蔵野らしくする。	作戦会議	エコカフェ スタディールーム	アート展開とプロセスデザイン デザインプロ集団②
全体①	広い視野で“ワケ”を知る テーマの組み合わせ 気づき、つながり、広がり、循環 驚きと“なぜ”という疑問	体験、連続講座、フィールドワーク ワークショップ 高校生などに向けた科学的な学び、 実験	エコカフェ スタディールーム ものづくり工房	コーディネータカ コミュニケーションカ 大学・企業・農家など様々な方を まとめるカ フットワークの良さ アーティスト性、学生 専門家、企業タイアップ②
環境全般 ①	市内だけでなく、他市、地域、山などといった 広域・流域との連携	水と緑の研究会 山梨などの水源巡り 他自治体と連携した講座（間伐材・ 森の話を聞ける講座など） 千川上水と五日市街道の雑木林を 歩く	エコカフェ ↓ フィールドワーク	● アイディアを形に仕向けるファシリテーター① ● 支配人を置く③ 【支配人の人物像】 ・フットワークが軽い人 ・地域とつながれる人 ・まきこみカのある人 ・聴く耳をもつ人 ・出てきたアイディアを形にできる人 ・直営（囑託でも） ● 企業からの出向先③ ● こんなスタッフがいるとよい③ ・専門的な知識がある（適確に相談窓口を案内してくれる） ・コーディネーター（3人以上必要） ・おしゃべりなおぼさん（交流を促す） ・外へつないでくれる（交流を促す） ・SNSをマメに更新する（情報発信）
全般③	『1人で悩まないで』 例えば、すてたいけどすてられない物などの悩みを他者と共有し、解決の糸口をつかんだり、共有することで新たな活動を生み出す。	もやもやカフェ	フリースペース または エコカフェ （仕切りのない空間）	
全般③	『専門的な環境の基礎知識を学ぶ』 SDGsなど、企業でも環境に関する知識が求められている。働き方改革で、仕事以外の時間の確保がしやすくなってきていることも踏まえ、社会人に環境の基礎知識を伝える。	大人（特に文系）のための環境連続講座（オープンカレッジ的なもの）	エコカフェ スタディールーム	
全般③	『地球視点』 普段は自分の身の周りのことしか見えないが、ものがどこからくるのか、産地の環境（自然環境、労働環境等）など地球規模の視点で生活を見直す。	みんなで展示をつくる 子ども、大人、企業、専門家など 色々なレベルの展示 親子で夏休みの宿題もいいかも？	フリースペース	
ごみ・資源 食品ロス①	ごみは資源になる 分別は良い資源にするため 循環させることができること 食べるもの大切さ	もったいないプロジェクト ごみの展開・分別調査 バイオマス研究、エネルギーづくり たい肥化と野菜づくり 手打ちそばができるまでを知る（作る大変さを知るため）	相談コーナー プラットホーム クリーンセンター屋上 ベジタブルガーデン キッチン	
ごみ・資源 ②	気軽に楽しみながらできる！	生ごみ処理のレクチャー	エコカフェ	

環境テーマ	伝えたいこと（例）	伝えるためのプログラ（例）	主な利用空間	顔が見える運営に必要な要素（例）
ごみ・資源 ②		<p>廃材の提供</p> <p>小学校の図工の授業では、廃材を工作の材料にしているため、教材として提供する。</p>	ものづくり工房	<p>●運営の視点③</p> <p><u>ソーシャルインパクト</u></p> <p>市民生活への波及効果を踏まえて、定量的に施設を評価、エコプラザ独自の目標・指標を掲げる。</p> <p>例えば・・・</p> <p>ごみ減 → ごみ処理経費削減</p> <p>元気な高齢者が増える → 医療費削減</p> <p>●市民も運営側に③</p> <p>利用者と運営者を明確に区分せず、利用者も運営に携わり、施設に関われるような仕組みがあるとよい。</p> <p>●参考事例③</p> <p>・けやきコミセン</p> <p>だれでも（市民でなくても）参加できる。だれかが何かをやりたいと言えば、とりあえずやってみることができる。</p>
ごみ③	『もったいない精神』 使い捨てしない、よい物を長く大切に使う。	<p>直し方を学ぶ、市民同士教え合う。 （もくもくと作業するのではなく、交流がうまれる仕掛けが必要）</p> <p>ものづくり工房利用者講習会（工具の使い方などを学ぶ）</p> <p>直すのに必要な部材（パーツ）のストック。</p> <p>部材（パーツ）をストックするために、廃材を解体・分別する。</p> <p>包丁研ぎができる。</p>	ものづくり工房・ストックヤード	<p>・アーツ千代田 3331</p> <p>地域となにかやることを条件に事業者を公募しており、地域とよいつながりができている。</p>
食品ロス②	もったいない！ どうしたら食品ロスがなくなるか。	<p>食べ物がえっこ</p> <p>眠っている食材を持ち寄って、活用術を学んだり、ほしい人に提供したりする。</p>	エコカフェ フリースペース	
農・食文化からESDへ①	種まきから収穫まで体験することでつながりを学ぶ 収穫したもので何ができるのか楽しみを知る 日本の発酵文化を知る（カビなど）	<p>梅や夏みかんの収穫体験とシロップ・ジャム・酒づくり</p> <p>地域にある食べ物のマップづくり</p> <p>味噌玉づくり</p>	エコカフェ・ものづくり工房（植栽に梅や夏みかんを植える→収穫→キッチンで調理、試食）	
緑・農地③	『農地の大切さ・おいしい食・地産地消』 法制度の影響もあり、農地の宅地化がますます進むことが懸念されるため、農地を保全するために、農地の大切さを伝えていく。	<p>地元野菜直売所</p> <p>まちなか農家プログラム（三鷹市）の武蔵野市版</p> <p>エコクッキング</p> <p>植物・野菜工場（水耕栽培の実験）</p>	エコカフェ（キッチン） フリースペース ものづくり工房	
水循環、緑、水と文化①	武蔵野市の成り立ち、江戸時代との比較 生命と水・命 地下水を飲んでいること、湧水がなくなること	<p>地図づくり、図鑑づくり</p> <p>クイズ、スタンプラリー</p> <p>湧水巡り、井戸探検隊</p> <p>水車の設置</p>	フィールドワーク+プレストをエコカフェ（相談コーナー）で行う	

環境テーマ	伝えたいこと（例）	伝えるためのプログラ（例）	主な利用空間	顔が見える運営に必要な要素（例）
水循環②	雨を楽しむ。	雨とアート 防水スプレーで地面に絵を描き、水をかけると絵が浮かび上がる。貯留槽を見えるように設置し、貯めた水を利用して良い。	北側外部ヤード	
水循環②	浸水被害・対策	アスファルトや土、芝生など様々なものに水をかけて、どれだけ水が浸透するか実験する。	東側外部空間	
水循環②		雨水洗濯	芝生広場	
緑②	育てる喜び	シードバンク		
緑②	植物を知る 名前の由来や木の歴史など、ストーリーを知る。	樹名板（多摩産材）→個人宅にも配布する。 名前の由来なども紹介する。	ものづくり工房	
緑②	武蔵野市民は緑が好き！	市民の森 庭の木を寄付する。 その木の歴史・ストーリーを伝える。	東側外部空間	
緑②	緑の循環 落葉・剪定枝の利用 (背景：落葉を気にして庭の木を切ってしまう→活用できないか)	灰の研究所 落葉・枝の文化的利用（茶道で灰を利用することなど）	ものづくり工房	
生物多様性 地球温暖化①	植生の違い、土の違い、外来種が多い現状 なぜ外来種が問題になるのか 温暖化の影響と生物の関係（セミの羽化が早いなど）	観察、採取、身近な発見→探求につなげる エコツアーリズム・ビオトープコンクール	クリーンセンターリサイクルガーデン 芝生広場、フィールドワーク	
生物多様性③	『メダカを放流しないで』 家庭で飼育されているメダカの多くは外来種である。外来生物を放ってはいけないことを伝える。	家庭で飼育しきれなくなったメダカなどを引き取る。 エコプラザに大きな水槽を置き、そこに放し、欲しい人が持ち帰る。	東側外部空間	
エネルギー×防災①	自然エネルギーと防災の視点 地産地消ができていない	太陽光街灯・自動販売機 太陽光パネルを防災の視点で設置する	東側外部空間 屋上	
エネルギー×住まい①	エコ・省エネとの関係	住宅の断熱材の展示	フリースペース	